

# 令和6年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査について

長野県教育委員会事務局心の支援課

## □調査の趣旨

児童生徒の問題行動・不登校等について、全国の状況を調査・分析することにより、教育現場における生徒指導上の取組のより一層の充実に資するとともに、その実態把握を行うことにより、児童生徒の問題行動等の未然防止、早期発見・早期対応、また、不登校児童生徒への適切な支援につなげていく。

□調査の主体 文部科学省 初等中等教育局児童生徒課

□調査項目 いじめ 暴力行為 長期欠席 高等学校中途退学 等

□調査対象年度 令和6年度

□調査対象校 全国の国公私立の小学校・中学校・高等学校・特別支援学校

## □長野県の結果【概要】

- いじめの認知件数は、9,633 件（434 件減）。
  - ・学校種別では、中学校と特別支援学校の認知件数が増加。
  - ・全国と比べて、いじめの解消済み件数の割合が高い。
- 暴力行為の発生件数は、1,527 件（122 件増）。
  - ・全校種において暴力行為の発生件数が増加。
  - ・全国と同様、内容別では生徒間暴力が最も多い。
- 小中学校における不登校児童生徒数は、7,248 人（188 人増）。高等学校における不登校生徒数は、743 人（102 人減）。
  - ・全国と同様、小中学校の不登校児童生徒数は12年連続で増加し、過去最多。
  - ・高等学校の不登校生徒数は2年連続で減少。
- 高等学校中途退学者数は、647 人（137 人増）。
  - ・中途退学者数は増加し、中途退学率も1.1%に増加。
  - ・全国と同様、事由別では、「学校生活・学業不適応」「進路変更」が主な退学理由。

※文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」の情報を利用し本資料を作成。文部科学省が都道府県別に公表していない項目等の長野県数値については、統計法第33条に基づく申請の上、承諾を得ている。

※構成比は、小数点第2位を四捨五入しているため、計と内訳の合計が一致しない場合がある。